



園だより 9月号



9月の聖句

人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい

マタイによる福音書 7章 12節

朝夕の涼しい風に初秋の訪れを感じます。

2学期の初日は、引渡し訓練からのスタートとなりました。保護者の皆様にはお忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。

今年の夏は、熊本地震や千葉・北陸での豪雨など、心の痛む災害が続きました。被災された方々を思うと胸が締めつけられるような気持ちになり、地震や水害がいつどこで起きてもおかしくない状況が続いていることを改めて感じます。

今回の訓練では、実際にお迎えに来られる際に自家用車や公共交通機関が使えなくなる可能性も現実味を帯びていることを、私たち職員も強く実感しました。

子どもたちが安心して過ごせるよう、そして保護者の皆様に安全にお引き渡しできるよう、災害時のマニュアルをもう一度丁寧に見直してまいります。

来月の初めにはプレイデーがあります。

9月は子どもたちと一緒に、楽しく準備を進めていきたいと思います。夏期保育中に年長組は美術講師の島田由実さんの指導のもと、様々な素材を使ってサマーキャンプで行った大地沢を作りました。しっぽのような筆を使って大きな和紙の上を歩いて川を描いたり、スプレーに絵の具を入れて段ボールの木に吹いてみたり、汚れを気にしない大胆な制作活動に大喜び!「ほんとに川が流れているみたい!」「〇〇ちゃん顔が絵の具だらけだよ。」「□□くんもだよ!」と足から顔まで絵の具だらけになりながら楽しんで取り組んでいました。作品をお楽しみに!!



新約聖書のイエスの言葉の中でも最もよく知られた箇所、人の気持ちに寄り添うことの大切さを語っています。先日、研修のため保育体験に来ていた小学校の先生からこんなことを言われました。「さふらんの子どもたちはやりたいことが重なっても自分たちで話し合って順番を決めたり、泣いている子がいたら寄り添ってあげたりできるんですね。」子どもたちに他者への思いやりの心の芽が育ってきていることをとても嬉しく思いました。大切にしていきたいと思います。

